

骨の溶解液

ハードカル

徒長抑制

カルシウムを吸った根は選択吸収が行える。自動的に徒長を防ぐ、倍率によっては伸びを止めることもできる。

塩害予防

塩害の基であるナトリウムの吸収を抑える。

花芽促進

リンサンの吸収により、硝酸態チッソを拮抗するので、デンプンの充実を促進させる。

病気予防

カルシウムによって葉の細胞が強化されるのでやや硬めの良好な状態となり、アブラ虫が付きにくい。

品質向上

充実した細胞により、日持ちのよい品となる。

根グサレ予防

大根などの軟腐・ハクサイの芯グサレやフチグサレに、芝の根グサレ等、全ての根グサレ予防に役立つ。

使用上の目安

よい苗を作る	徒長を防止する	花芽促進	実の肥大と品質向上
液肥とハードカル	ハードカル単用	ハードカルのみ	カリアップとハードカル併用

ご注意・・・農薬との併用は、カルシウムイオン、リンサンイオンが乱れる場合が有り、さけて下さい。

液肥とは・・・生育を促進させながら硬く作ることができる。

お願い・・・特殊な骨を原料としているので発酵いたします。長期保存の場合は、キリなどでフタに孔をあけて下さい。

製造元 栄研産業株式会社

骨粒溶解液

葉面散布で病気予防
根元散布で根腐れ予防

育苗	本葉2～3枚展開してから、300倍液を真上から散布する。あまり早期から与えると抑えすぎるのでご注意ください。根腐れを予防し、ガッチリ苗となる。
初期施用	ハクサイ・キャベツ・ホーレン草・大根・ニンジンなど、チュウダイを嫌う作物には、初期に与えて品質の向上、耐病性を図る。 根元灌水では100倍、葉面散布では300倍。農薬（殺虫剤など）混用には、500倍液にして使用。液肥との混用が良好です。
中期施用	ネギ・トマト・キュウリ・ブロッコリー・いちご・花類など、液肥と混用でシャッキリした成長となる。トマトの異状茎や花芽分化には、根元へリンキレート反当り10ℓ又は50倍液を与え葉にハードカル300倍液散布。 露地ものの根腐れ対策に、ハードカル100倍液の根元灌水がよい。
着色稔度	メロン・スイカ・果樹には収穫25日前頃にハードカル液300倍の葉面散布と根元へリンキレート反当り10ℓ、これにハードカル液10ℓ加えると着色の促進など倍加します。 果樹は、これにより来期の花芽分化に良い効果があります。
徒長抑制	トマトのメガネは2～3日で効果が出ます。 ブドウの徒長拔の抑制には300倍液の葉面散布と、リンキレート50倍液の根元施用をする10日くらいで抑制がはじまります。 アブラ虫が嫌って居なくなるので混用作業が効果的です。
芝類	根腐れ、カビ対策に300倍液の混合施用。 葉を立たせて、伸びを抑えるには100倍液を㎡/ℓを散布。 使用時期＝雨降り前後がよく、農薬や液肥との混用で、充分効果が見えます。
果樹	知らず知らずに連作障害が出ている。ヘモグロンで十分に樹勢を高めてから花咲きどきハードカル50倍液の根元灌水と400倍液の葉面散布で、花振りや生理落下を防ぐ。

ご 注 意 展着効果が強いので、農薬使用の場合は最も薄目の量でご使用下さい。
カルシウムやリンサンの効果が強いので、チッソを抑える場合があり、成長期は液肥で混用する。

含 有 成 分

- | | | | |
|--------|------|-------|-----|
| ・カルシウム | 約40% | ・リンサン | 約9% |
| ・ケイサン | 約6% | ・有機酸 | |